

障害児の兄弟支えよう 50人参加し東北ブロックのシンポ

全国重症心身障害児(者)を守る会東北ブロックの「きょうだいシンポジウム」が22日、秋田市のシャインプラザ平安閣で開かれた。

同会が重症心身障害児の兄弟、姉妹たちへの支援を目的に、ことしから取り組んでいる重症心身障害児(者)兄弟姉妹支援等事業の一環。東北各県から障害児と家族約50人が参加した。

シンポジウムでは、子どもたちが、きょうだいを介助している経験や、その障害について学校のクラスで話した経験を発表。参加者が「同じ境遇にいる子どもたちに、合宿やお楽しみ会など触れ合う機会をつくってあげることが大事」「家族の障害について積極的に周囲に語り、実感を持ってもらうことが必要」などと意見を述べた。

(2006/10/22 20:51 更新)